

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月12日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	岡田一幸
レジメン名	トラスツズマブ【2回目以降】+SP(ホスアプレビタント)		
疾患名	胃がん	適応の備考	対象:HER2陽性胃がんのみ
適応分類	進行再発		
1コース日数	21	日間	総コース数
抗がん剤投与量・投与日 トラスツズマブ6mg/kg day1、シスプラチン60mg/m ² day1、S-1 80mg~120mg/body 分2 day1-day14			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2	本 / body	2 時間	●																			
2	主ルート	生食250mL	1	本 / body	30 分	●																			
	点滴静注	トラスツズマブ	6	mg / kg		●																			
	点滴静注	注射用水100mL	1	本 / body		●																			
投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																									
3	主ルート	生食250mL	1	本 / body	30 分	●																			
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1	本 / body		●																			
抗がん剤投与1時間前に30分かけて投与																									
4	主ルート	ハロセトロン注バッグ0.75mg50mL	1	本 / body	30 分	●																			
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1	本 / body		●																			
5	主ルート	生食500mL	1	本 / body	2 時間	●																			
	点滴静注	シスプラチン	60	mg / m ²		●																			
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																									
6	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2	本 / body	2 時間	●	●	●	●																
7	側管	生食100mL	1	本 /																					
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1	本 /	30 分		●																		
8	側管	生食100mL	1	本 /																					
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2	本 /	30 分		●	●																	
9	経口投与	S-1	9999	mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
		分2 朝夕食後																							
	(体表面積)	1.25m ² 未満 80mg/day 1.25~1.5m ² 未満 100mg/day 1.5m ² 以上 120mg/day																							

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- このレジメンは、トラスツズマブ2回目以降の投与患者に使用する
- トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg day1
- トラスツズマブ: 初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。
- トラスツズマブ: 次回以降予定投与が遅れた場合、予定投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。
- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。